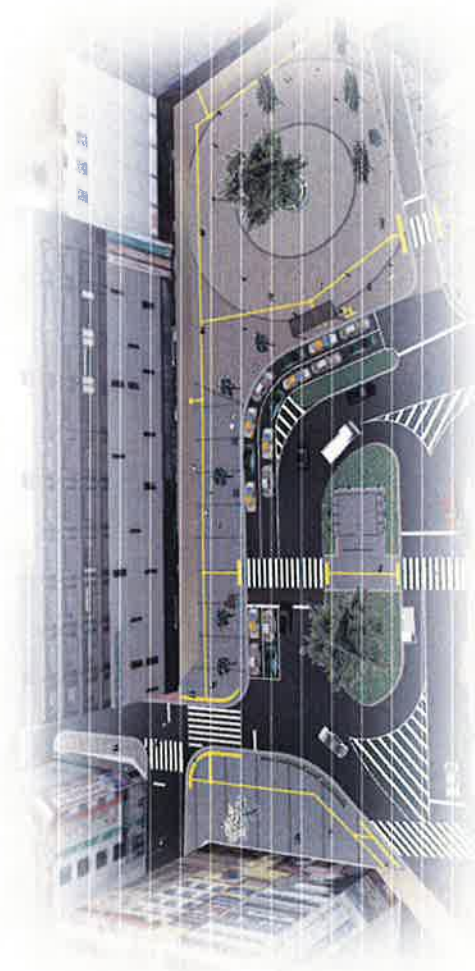


第6回 蒲田駅西口駅前広場検討部会資料 蒲田駅西口交通島再整備計画（案）

	頁
1. 交通島再整備方針	1
2. 交通島における各施設の再整備方針	3
3. 計画平面・計画断面	7
4. 参考資料	8



平成27年2月10日（火）

1 交通島再整備方針（前回検討部会内容の確認）

1-1. スペース別環境形成（広場西側交通島スペース）

方針： 駅前広場の安全な横断と商店街をつなぐ歩行者空間づくり

基盤整備の整備概要：

直線的な歩行者動線を確保するため、交通島中央の植栽樹を撤去し、喫煙所の再整備をする。

蒲田駅西口駅前広場 初期デザイン基本計画資料より

1-2. 交通島整備の方向性

(1) 歩行者動線の直線化

現在、交通島内の植栽樹により歩行者通路はクランク状となっており、バリアフリーなどの観点も含め、快適な歩行空間となっていない。そこで、交通島内の植栽樹を撤去し、歩行者通路を直線化することで、快適な歩行者空間を創出する。

(2) 植栽樹内の樹木の移植

交通島内の植栽樹に植樹されている『梅の木』は、歩行者通路の直線化により支障するため、移植する。

(3) 喫煙スペースの再整備

現在の喫煙スペースは、多いときには20人程度が利用しているが、スペースが狭いため歩行者通路上で喫煙し、さらには吸殻を通路上にポイ捨てる状況がみられる。このままでは、乗降衛生上、維持管理上問題があるため、喫煙スペースの拡張とパネルの設置（防犯上の観点からパネルは透明パネルを使用する。）による分煙化を図り、さらに景観への配慮として、喫煙スペースを中木で囲う。中木の種類は下表より、常緑樹とする。

評価の視点	常緑樹	落葉樹
視覚的な空間分離	○	△
喫煙者、非喫煙者双方にとって快適な空間であること	○	△
維持管理	○	△
清掃の負担、コストが低いこと	○	△
景観性の向上	○	○
季節の変化が感じられる豊かな景観づくり	○	○
評価	○	△

(4) その他施設整備

交通島改修時に現在の広場照明灯を変更してしまうと、広場全体の照度が確保できなくなるため、駅前広場初期整備の際に変更する。また、防災無線及び交通安全宣言塔については、来年度以降検討する。

整備方針



交通島の整備対象



梅の木の移植



喫煙スペース



歩行者通路(横断歩道)

駅前広場初期整備対象



防災無線

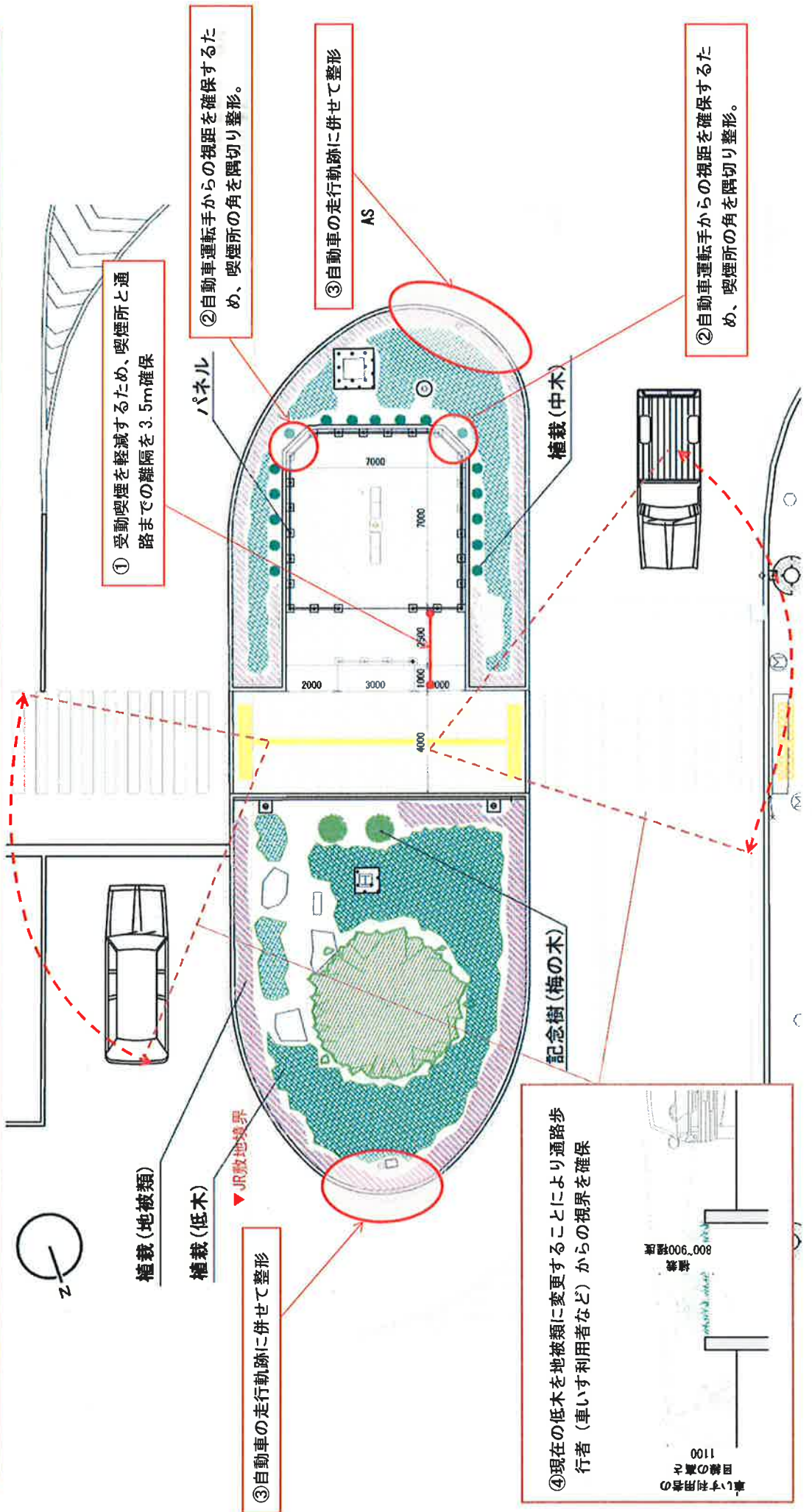
広場照明灯

交通安全宣言塔

1 交通島再整備方針

1-3.交通島の整備方針

- ① 一般歩行者の受動喫煙を軽減するため、歩行者空間と喫煙所の距離を最大限確保する。
- ② 交通島の外側を通行する自動車及び通島の歩行者相互の視界を遮らないよう、喫煙所の角の形状を工夫する（隅切り）。
- ③ 自動車の走行軌跡に合わせ、交通島の形状を整える。
- ④ 通路歩行者（車いす利用者など）からの視界を確保する。



① 受動喫煙を軽減するため、喫煙所と通路までの距離を3.5m確保

② 自動車運転手からの視距を確保するため、喫煙所の角を隅切り整形。

③ 自動車の走行軌跡に併せて整形

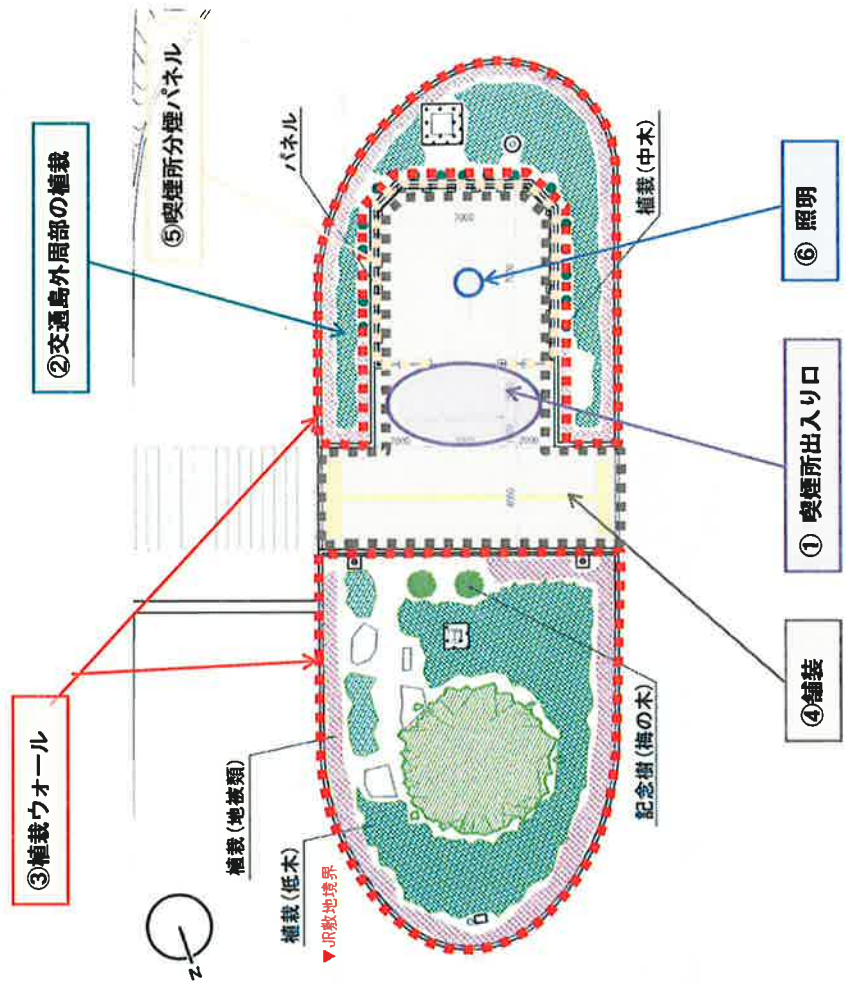
② 自動車運転手からの視距を確保するため、喫煙所の角を隅切り整形。

③ 自動車の走行軌跡に併せて整形

④ 現在の低木を地被類に変更することにより通路歩行者（車いす利用者など）からの視界を確保

2-1. 再整備の対象となる各施設

再整備対象施設	検討内容
① 喫煙所出入り口整備	歩行者通路からの見え方などを考慮した整備パターン
② 交通島外周部の植栽	配植パターン、樹種の組合せパターン
③ 植栽ウォール	駅周辺の景観との調和を考慮した整備方針
④ 舗装	喫煙所内の美観などを考慮した舗装組合せ
⑤ 喫煙所分煙パネル	交通島外周との調和に配慮した整備パターン
⑥ 照明	喫煙所内に配置し、周辺の景観に配慮した整備パターン



2-2. 喫煙所出入り口整備パターン検討

整備イメージ	メリット (○)・デメリット (△)	評価
	<p>○喫煙所内部の様子をしっかりとらうかがえ 防犯上問題がない。</p> <p>○歩行者通路面に対して、でっばりがない ため、歩行者に対して圧迫感を与えない</p> <p>▲他の案と比較すると、緑の量が少なくな る。</p> <p>▲喫煙所内が見えなくなり、景観上好まし くない。</p>	○
	<p>○視覚的に、緑の量が多く、潤い、落ち着 きを感じ取ることができる。</p> <p>▲喫煙所内部がしっかりと隠されてしまい 様子をうかがいにくく、防犯上問題が残 る。</p> <p>▲歩行者通路面へのでっばりが大きいた め、歩行者への圧迫感が大きい。</p> <p>▲植え込み部にポイ捨てされる可能性が 高く、環境上好ましくない。</p>	△
	<p>○視覚的に、緑の量が多く、潤い、落ち着 きを感じ取ることができる。</p> <p>○通路から、喫煙所内部の様子がしっか りうかがえるため、防犯上問題はない。</p> <p>▲プランタは人のひざ丈程度であるため、 喫煙所内部がまる見えになり、景観上あ まり好ましくない。</p> <p>▲歩行者通路面へのでっばりが大きいた め、歩行者への圧迫感が大きい。</p> <p>▲プランター内にポイ捨てされる可能性 が高く環境上好ましくない。</p>	△

2 交通島における各施設の再整備方針

2-3. 交通島外周部の植栽

(1) 植栽のしつらえイメージ

交通島の周囲の歩道から、緑が豊かで潤いや落ち着きを視覚的に感じられるしつらえとする

(2) 樹種




- ① 交通島の周囲の歩道から、潤いや落ち着きを感じられる配植とする。
- ② 喫煙所のパネル外側に植栽する中木は防犯上の面から適度に喫煙所内がうかがえるような、樹種とする。
- ③ 排気ガスや虫の害に強いなど都市環境に適し、強い剪定などの手入れに弱くない樹種とする

整備イメージ	メリット (○)・デメリット (▲)	評価	樹種	写真 (イメージ)	特徴	評価
	<p>○ 視覚的に緑の量が多い</p> <p>▲ 遮へい性は高いが、喫煙所内部の様子がうかがいにくく、防犯上問題</p> <p>▲ 緑の量は多いものの、配植が単調のため、奥行きがなく空間の広がりを感じられない。</p>	△	<p>① ある季節に一斉に花が咲くパターン</p> <p>【中木】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラタネオガタマ ・ポートワイン ・常緑樹 ・5~6月にピンクに白色が混じった花が咲く <p>【低木】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シヤリンバイ ・常緑樹 ・5~6月に白色の花が咲く <p>【地被類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピンカマジョール ・5~6月に紫色の花が咲く 	<p>【カマボートワレ】</p> <p>【シヤリンバイ】</p> <p>【ピンカマジョール】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花が咲いている期間が春先で短い期間であるが、ほぼ一斉に花が咲くため一時的には、華やかさを感じ取れる。それ以外の季節は花が咲かないため、落ち着いたイメージとなる配植パターン。 	△
	<p>○ 視覚的に緑の量が多く、奥行きのある配植により、圧迫感を抑える</p> <p>▲ 視覚的に緑の量が多いが、奥行きや広がりを感じにくい</p>	△	<p>② 四季を通じて花が咲くパターン</p> <p>【中木】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソヨゴ ・常緑樹 ・10~12月に赤い実をつける <p>【低木】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アベリア ・常緑樹 ・6~11月の長期間、花が咲く。種類により、白、ピンクなどの花が選べる。 <p>【地被類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハナニラ ・1~4月の間紫色の花が咲く。 	<p>【ソヨゴ】</p> <p>【アベリア】</p> <p>【ハナニラ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ1年を通して花または実が咲いている状況になり、落ち着いた感じに加えて、鮮やかなさも感じられる配植パターン。 	○
	<p>○ 視覚的に緑の量が多く、特に奥行きのある配植により、空間の広がりを感じられる。</p>	○				

2 交通島における各施設の再整備方針

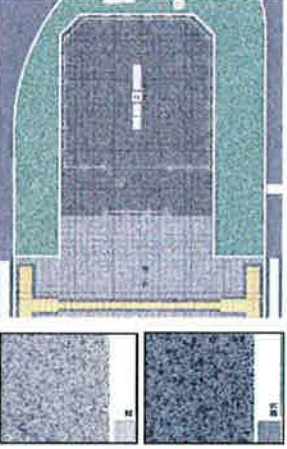
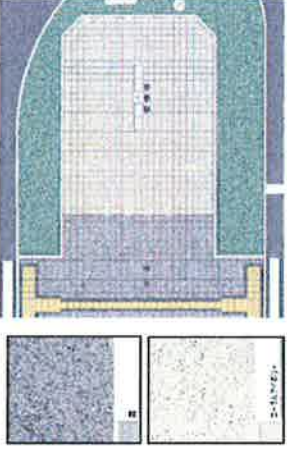
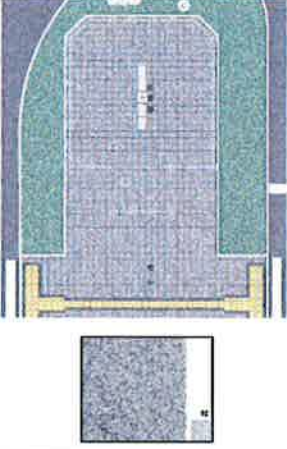
2-4. 植栽ウォール

- ① デザイン基本方針に示される、落ち着きのある色、質感とする。
 ② 商業ビルなど建物が並ぶ周囲の街並みと調和するデザインとする。

ウォール	写真 (イメージ)	メリット (○) デメリット (▲)	評価
A案		○丸みのあるデザインにより、落ち着きや柔らかい味のある雰囲気を出し、さらに周囲の商業ビルなどの近代的な建物が存在するまちなみとも調和する。	○
B案		○落ち着きと風格を兼ね備えたデザイン ▲歴史あるまちなみや散策路などに相応しく、商業ビル、住宅など近代的な建物の多い地域では周囲の景観との調和が難しい。	△
C案		○使用するタイル色により明るみ、落ち着きを出すことが可能であり、さらに高級感のあるデザイン ▲閑静な住宅街や西欧風な建物などにマッチするものの、商業ビルなど近代的な建物が囲われる地域との調和が難しい。	△

2-5. 舗装

- ① デザイン基本方針に示される、落ち着きのある舗装材とする。
 ② 喫煙所は、美観に配慮した舗装パターンとする。

舗装	イメージ	メリット (○) デメリット (▲)	評価
A案		○美観に配慮し、たばこの灰が落ちても汚れが目立たない ○歩行者通路と喫煙所が区分でき喫煙所への誘導がしやすい。 ▲通路より暗い色調とするため、落ち着きというよりは暗いイメージとなる。	○
B案		○歩行者通路と喫煙所を明確に区分でき、喫煙所への誘導がしやすくなる。 ▲たばこの灰により、汚れが目立ち、美観を損なう ▲落ち着きとは相反するイメージとなる。	△
C案		○落ち着きを感じられる舗装色 ▲色調が歩行者通路とかわらないため、喫煙所への誘導がしづらい ▲たばこの灰により、汚れが目立つ	△

2 交通島における各施設の再整備方針

2-6. 喫煙所分煙パネル

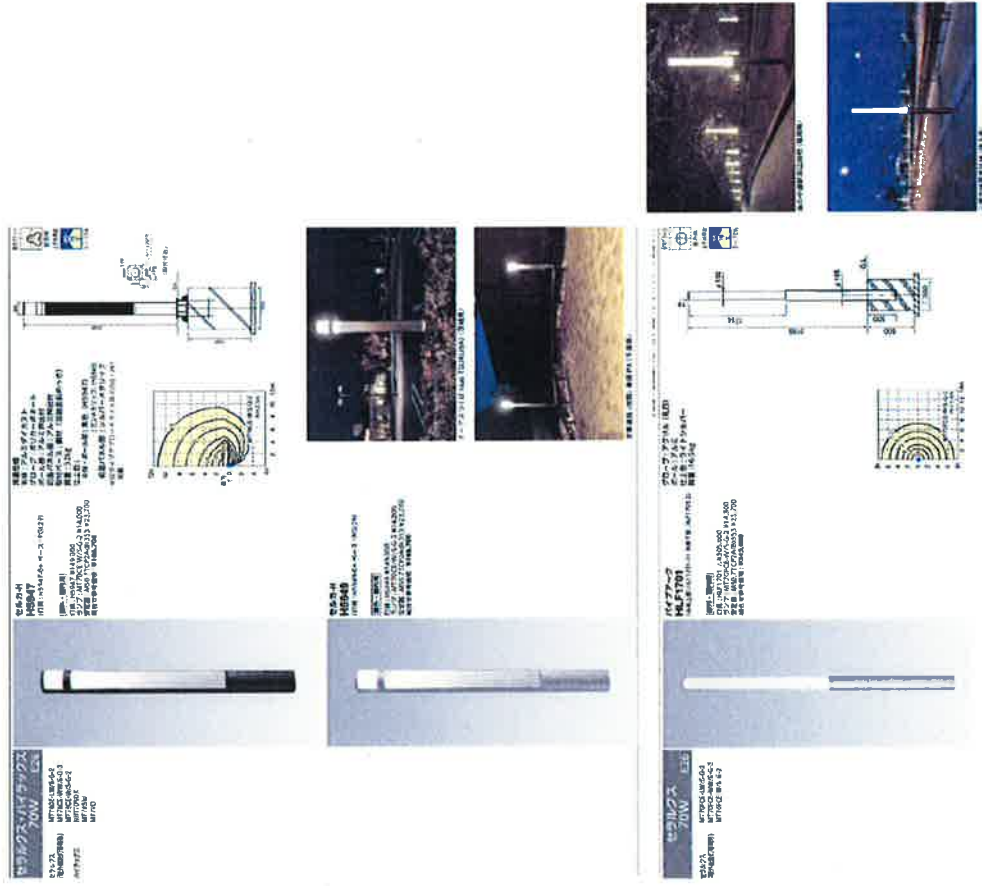
- ① 防犯性に配慮した適度な遮へい性を確保する
- ② 喫煙所の周辺に植樹する樹木などと一緒にとなり、周囲の景観と調和する落ち着いたデザインとする

パネル	写真 (イメージ)	メリット (○) デメリット (▲)	評価
A 茶色付き半透明パネル		<ul style="list-style-type: none"> ○ 半透明色とすることで防犯性を保つことができる。 ○ 周辺に植樹する木々と同じような色を使用することにより、周囲の景観に調和させることが可能である。 	○
B 透明パネル		<ul style="list-style-type: none"> ○ 透明であるため、防犯性が高い。 ▲ 内部が見えすぎ、遮へい性が低く、周囲の景観と調和しない 	△

事例：新宿駅東口 大ガード付近
事例：練成公園 (千代田区)

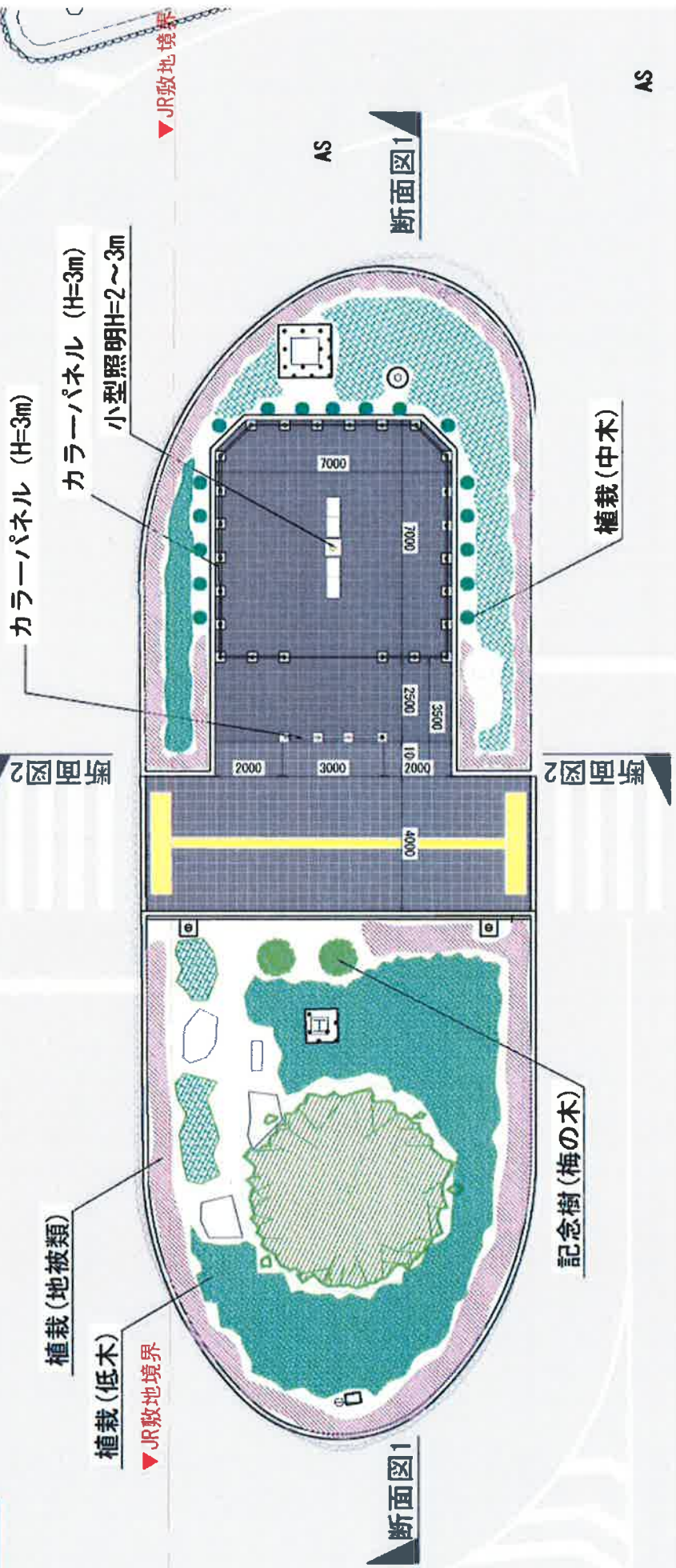
2-7. 喫煙所内の照明

- ① 夜間、喫煙所内を照らすことにより、防犯面の向上を図る。
- ② 景観に配慮し、喫煙所の分煙パネルまた周辺に植樹する中木程度の高さ (H=2~3m) の照明とする。

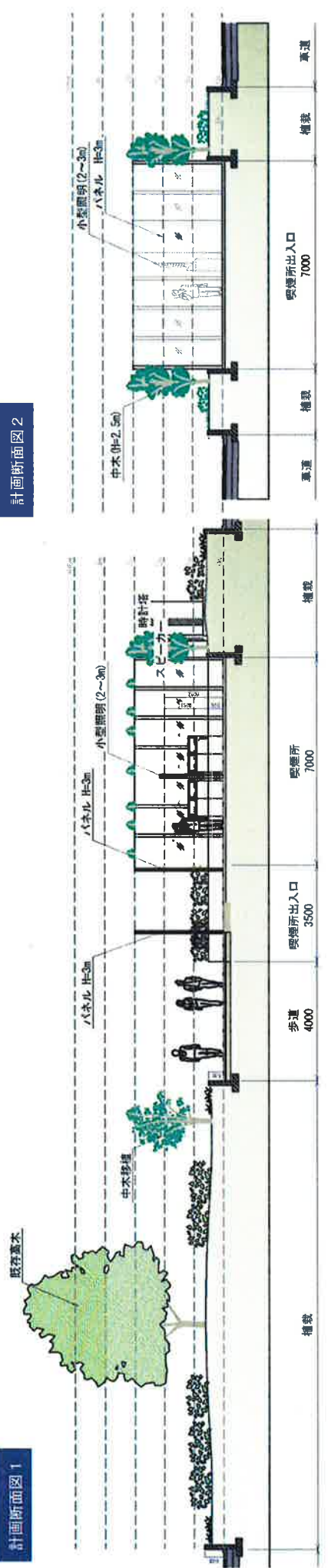


3 計画平面図・計画断面図

計画平面図

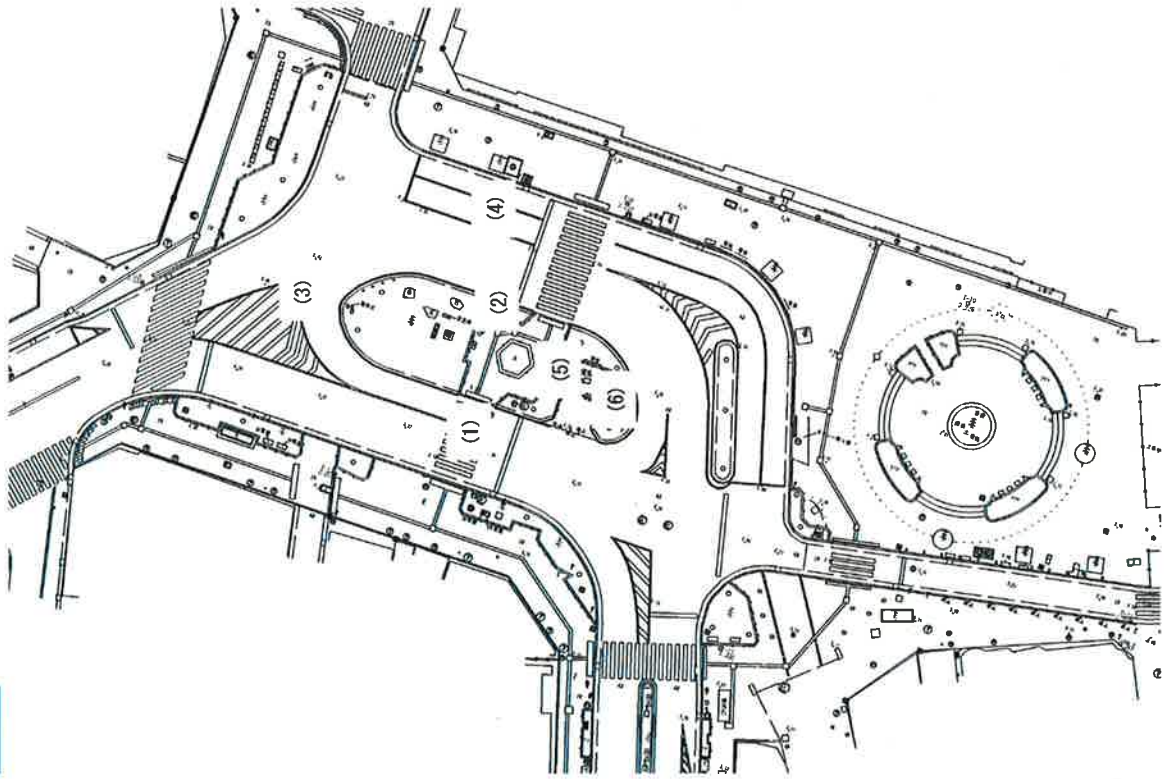


計画断面図1



4 参考資料

現況圖



現況写真

